※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０３

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道造形	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

好きな古典を選び、書体・書風の特徴を探求していきましょう。
各自が主体的に取り組んでいくことを目標に、大きいサイズの作品制作にも挑戦します。作品を表装し、展示するところまでを自分たちで行います。達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

幅広い芸術の創造活動を通して、多様な個性を最大限に生かす。
書の古典を中心に鑑賞力、表現力を修得することで、感性を高めるとともに造形感覚を養う。

（1）書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
（2）書の良さや美しさを享受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
（3）主体的に書の造形的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	･書道の表現方法や多様性について幅広く理解している。 ･書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身につるようにする。	書道の良さや美しさを感受し、表現の意図と創造的な工夫などについて考える。価値意識をもって芸術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的・協働的に芸術の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育む。心豊かな生活や社会を創造していく感性を高める。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	漢字の書	･自分の好きな古典を選び、その古典について学びを深めていく。 ･条幅作品を完成させる。 ･裏打ち、軸表装する。	a:自分の選んだ古典について、情報収集し、理解を深めている。 b:古典の臨書をするにあたり、書体の特徴、表現技法について理解し工夫している。 c:裏打ち、表装に関心をもち、表装の効果的な技能を身につけ	作品 レポート	作品 レポート	作品 レポート 授業への取り組み

※令和４年度以降入学生用

			ている。 ｄ：書の作品制作、鑑賞の学習活動に積極的に取り組もうとしている。			
二学期	篆刻、刻字	・篆刻を構成する書体、書風や配字等による表現の効果を理解する。	a:篆刻を構成する様々な要素、書体、書風や配字等による表現の効果を理解している。 b：篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 c：篆刻の創造的な表現を主体的に学習活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品 ワークシート 授業への取り組み
三学期	漢字・漢字仮名交じりの書・	・漢字(顔真ケイ) ・漢字仮名交じりの書	a:顔真ケイの個性豊かな書体の中から好みのものを選び、学びを深めていく。 ｂ：自己表現のための撰文や、書体の選択を行い、創造的な表現の技能を身に付け表している。 ｃ：互いの作品を鑑賞し、その良さや美しさを味わっている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品 振り返りプリント